

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こども支援ルームはぐはぐ					公表日	令和 6 年 12 月 19 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準を満たした広さは確保しております。				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	△		基準を満たした人員配置をしています。	基準を満たした配置ではあるが、曜日による利用児数のばらつきや、それぞれの発達特性に違いがあるため、それに応じた人員の確保に努めてまいります。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	△		療育室、個別療育室兼午睡室は別室とし、分かりやすい環境設定にしています。	民家であるため、段差や隣の部屋の音漏れなどがあるのが現状ですが、できる限りそれらを最小限にできるよう努めます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		子どもたちが過ごしやすいような環境設定に努めています。掃除、消毒を毎日行い、衛生面に配慮しています。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		別室でクールダウンなどができるようにしています。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	△		定期的なミーティングや委員会の開催や日々の情報共有を行い、職員間で統一した支援が行えるようにしています。	今後も継続してミーティングが行えるよう努めます。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価表に基づき、改善に努めております。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的にミーティングを開催しております。その中で出た意見やアイデアをもとに業務改善につなげております。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		運営指導をまだ受けておりませんが、今後指導を受けた内容について改善してまいります。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修会の開催を行い、職員の質の向上に努めております。今後も外部研修等にもできるだけ参加できる体制を整えてまいります。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		職員間で話し合い、支援プログラムを作成、公表しております。				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		保護者との日々のやり取りや定期面談から保護者のニーズを聞き取り、個々の課題を明確にしたうえで作成しております。				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		保護者からのニーズを職員間で共有し、支援内容等の検討を行っております。				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画の内容は職員間で共有し、支援しております。				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	△		発達検査を受けた結果を提出いただいたり、保育園や幼稚園等の面談内容を共有いただき、支援につなげています。	引き続き、共有された情報を活かして支援につなげます。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインのねらい及び支援内容を踏まえ、個々に必要な項目設定と具体的な支援内容を設定しています。				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		定期的なミーティングで立案を行っております。				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日替わりで活動プログラムを作成し、担当と役割を設定しています。季節ごとにイベントを行い、固定化しない工夫をしています。				
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別療育は個々の発達や保護者のニーズに合わせて計画・実施し集団活動として日替わりの活動プログラムを組んで支援しています。				

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、または前日に確認を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		振り返りの記録をつけるとともに、職員間で確認を行うようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の振り返り記録とともに、保護者向けのサービス提供記録をもとに支援を振り返り、改善に努めています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的に支援内容の見直しを行い、支援内容の評価、支援計画の作成により内容の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		参加機会があれば、内容に応じてその状況を理解したものが参画していきます。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて関係機関、担当者との情報共有し、支援を行う体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		必要に応じて情報共有及び相互理解を図り、連携して支援を行う体制を整えています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者を通して、または保護者の同意を得た上で直接各担当者と連絡を取るなどして支援内容の情報共有と相互理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	△			研修会や情報交換会に積極的に参加し、情報共有や助言をいただける機会をつくります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		利用児の8～9割が保育園や幼稚園との併用の子どもたちなので、現時点では交流の機会を特に設けておりません。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			日々の状況や課題についてはシステムの活動記録や送迎時に対面での報告を行い、共通理解を持っています。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			保護者からの相談があれば個別に行っております。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			見学時や契約時に読み合わせを行い、丁寧に説明するよう心がけています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			支援計画作成時には個別面談を行い、保護者の思いや意向の確認を行うようにしています。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			支援内容の説明を行い、児童発達支援計画の同意をいただいております。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			定期面談はもちろん、保護者より送迎時やシステムを通じて相談を受けた場合は、個別に時間を設け対応しております。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			保護者様同士の交流イベントやきょうだい参加できるイベントを年数回開催しております。今年度は夏祭りやクリスマス会を開催いたしました。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			相談や申し入れ、ご意見をいただいた際には適切な対応が行える体制を整えています。

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		インスタグラムや書面、システム等を通じて保護者様への発信を行っております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が含まれる書類の管理につきましては細心の注意を払っております。また書類は鍵付き書庫にて保管しております。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		必要に応じて個別での情報伝達にするなど、配慮を行っております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		野菜の種まきを利用児と一緒にしていただいたり、ハロウィンではお菓子配りをお手伝いいただくなど近所づきあいを大切にしています。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを策定し職員に周知しております。毎月火災または地震を想定した避難訓練を実施し、保護者様にお知らせしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、職員に周知し、必要な訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		現時点では該当する利用児はいませんが、書面での書類の提出をお願いするとともに事業所内で情報共有をしております。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者様からの聞き取りをし、必要に応じて医師の指示書の提出をお願いしています。また、情報は事業所内で共有しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		完全計画に基づき、安全管理に努めています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		発達段階に合わせた安全指導が行えるよう、配慮しております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ミーティング等で今後の対策を話し合うとともに記録に残し、再発防止に努めております。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止に関する職員の研修を年1回実施し、適切な対応を心掛けています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		身体拘束は現在行っておりません。	